

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第51期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社大真空
【英訳名】	DAISHINKU CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長谷川 宗平
【本店の所在の場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426 - 3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部副本部長兼管理部長 石井 孝利
【最寄りの連絡場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426 - 3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部副本部長兼管理部長 石井 孝利
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月12日に提出いたしました第51期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）四半期報告書の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたため、また四半期報告書に添付しております独立監査法人の四半期レビュー報告書の記載事項の一部に原本と異なる記載がありましたので、これらを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第4 経理の状況

1 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

独立監査人の四半期レビュー報告書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第50期 第1四半期 連結累計期間	第51期 第1四半期 連結累計期間	第50期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	8,187,631	9,004,870	32,856,438
経常利益(千円)	323,287	552,067	1,420,887
四半期(当期)純利益(千円)	238,410	456,366	1,086,445
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	354,163	1,275,151	3,260,949
純資産額(千円)	30,918,194	35,500,391	34,443,831
総資産額(千円)	58,757,998	60,213,506	59,050,286
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.75	11.01	26.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47	52.1	51.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第50期第1四半期連結累計期間及び第50期連結会計年度の各数値については、遡及修正後の数値を記載しております。なお、詳細については「第4 経理の状況 追加情報(在外子会社における中華民国国際会計基準の適用)」をご参照ください。

(訂正後)

回次	第50期 第1四半期 連結累計期間	第51期 第1四半期 連結累計期間	第50期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	8,187,631	9,004,870	32,856,438
経常利益(千円)	323,287	552,067	1,420,887
四半期(当期)純利益(千円)	238,410	456,366	1,086,445
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	354,163	1,275,151	<u>3,248,183</u>
純資産額(千円)	30,918,194	35,500,391	34,443,831
総資産額(千円)	58,757,998	60,213,506	59,050,286
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.75	11.01	26.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47	52.1	51.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第50期第1四半期連結累計期間及び第50期連結会計年度の各数値については、遡及修正後の数値を記載しております。なお、詳細については「第4 経理の状況 追加情報(在外子会社における中華民国国際会計基準の適用)」をご参照ください。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

<前略>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,653,907	3,064,977
短期借入金	2,530,454	2,935,151
1年内返済予定の長期借入金	6,261,500	5,922,014
未払金	779,791	1,016,593
未払法人税等	327,663	134,123
賞与引当金	498,224	265,357
役員賞与引当金	-	3,750
その他	676,843	769,395
流動負債合計	13,728,385	14,111,364
固定負債		
長期借入金	8,059,859	7,749,831
繰延税金負債	531,194	550,255
退職給付引当金	1,738,202	1,738,785
長期未払金	309,739	315,391
資産除去債務	24,763	24,865
その他	214,309	222,621
固定負債合計	10,878,068	10,601,751
負債合計	24,606,454	24,713,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,413,466	12,413,466
利益剰余金	878,200	1,168,771
自己株式	1,522,712	1,524,404
株主資本合計	31,113,838	31,402,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,328	157,107
為替換算調整勘定	745,738	190,869
その他の包括利益累計額合計	655,409	33,762
少数株主持分	3,985,403	4,131,437
純資産合計	34,443,831	35,500,391
負債純資産合計	59,050,286	60,213,506

(訂正後)
<前略>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,653,907	3,064,977
短期借入金	2,530,454	2,935,151
1年内返済予定の長期借入金	6,261,500	5,922,014
未払金	779,791	1,016,593
未払法人税等	327,663	134,123
賞与引当金	498,224	265,357
役員賞与引当金	-	3,750
その他	676,843	769,395
流動負債合計	13,728,385	14,111,364
固定負債		
長期借入金	8,059,859	7,749,831
繰延税金負債	531,194	550,255
退職給付引当金	1,847,270	1,850,318
長期未払金	309,739	315,391
資産除去債務	24,763	24,865
その他	105,241	111,088
固定負債合計	10,878,068	10,601,751
負債合計	24,606,454	24,713,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,413,466	12,413,466
利益剰余金	878,200	1,168,771
自己株式	1,522,712	1,524,404
株主資本合計	31,113,838	31,402,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,328	157,107
為替換算調整勘定	745,738	190,869
その他の包括利益累計額合計	655,409	33,762
少数株主持分	3,985,403	4,131,437
純資産合計	34,443,831	35,500,391
負債純資産合計	59,050,286	60,213,506

独立監査人の四半期レビュー報告書

(訂正前)

<前略>

監査人の責任

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

<後略>

(訂正後)

<前略>

監査人の責任

(削除)

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

<後略>